

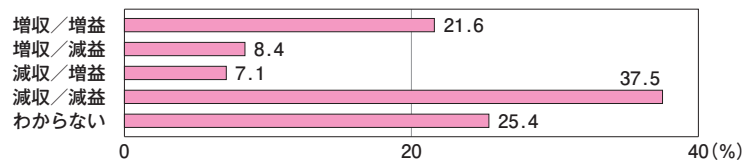
独自調査「貴社の今期の見通しについて」

(2021年9月調査)

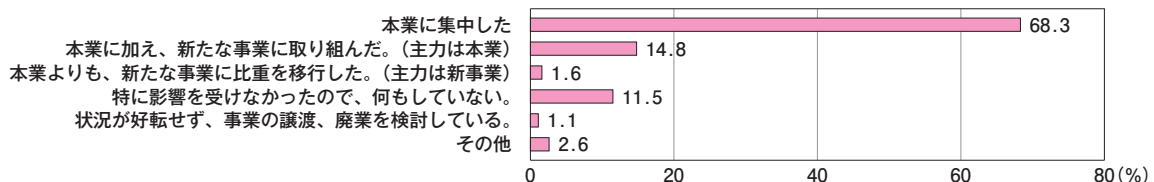
現在、ワクチン接種が進む一方で感染力の強いデルタ株が主流になり新型コロナウイルス感染者が大幅に増加、4回目の緊急事態宣言が発令されている状況下にある。

- ・今期の決算予想については「減収／減益」が37.5%と最も多かったが、内訳は業種でばらつきがあり小売業が48.9%の回答に対して不動産業は24.4%であった。現在の状況下においては厳しい決算予想をされる先が最も多く、今後の感染状況によって先行きが見通せない中、現状では決算予想が立てられない先も多かった。但し、一方では「増収／増益」「増収／減益」「減収／増益」が37.1%あり業況の見通しについては2極化している。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に対する今期の取組については「本業に集中」が68.3%と最も多かった。次いで「本業に加え、新たな事業に取り組んだ」が14.8%と次に続いた。又、「特に影響を受けなかったため、何もしていない」という回答も11.5%あった。
- ・業績を上振れさせる要因としては「ワクチン接種浸透による行動制限の緩和」が55.5%と最も多く、「個人消費の回復」が42.4%と次に続いた。「経済政策支援の充実」も28.6%の回答となっており政府に対して更なる支援策を求める声も多かった。
- ・業績を下振れさせる要因としては「新型コロナウイルス感染症の拡大による行動制限の拡大」が65.5%と最も多く、「個人消費の一段の低迷」が39.5%と次に続いた。「原油・素材価格の動向」は23.0%であったが、製造業については31.9%となっており製造コストの上昇を懸念する声が多い。
- ・全体的にみて今後の業績は新型コロナウイルス感染症の収束並びに治療薬の開発がどれだけ進んでいくかに左右される。当面は経済活動に対するアクセルが踏み出しにくい状況にある。
- ・今回は問5として「コロナ禍での各社の取組状況」（中小企業の生の声）を「今期決算予想」と「業種別」に整理してまとめております。ぜひとも今後の貴社への取組の参考として下さい。

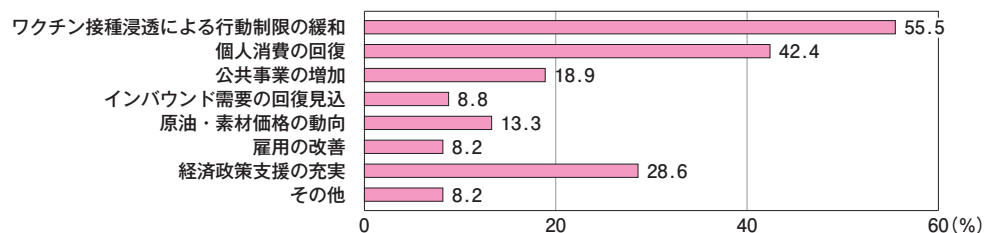
問1. 貴社の今期決算についてどのような予想をしていますか。



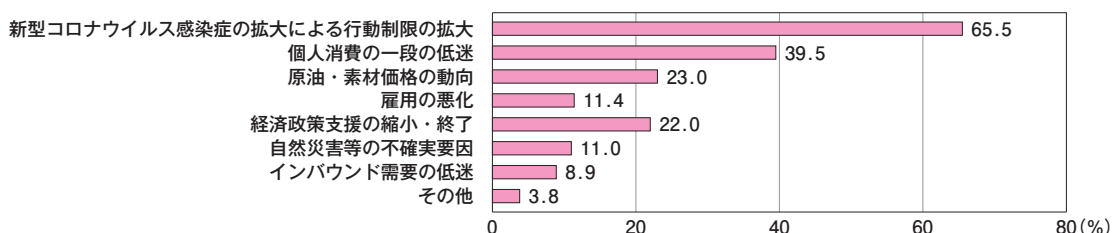
問2. 多くの企業がコロナウイルス感染拡大により大きな影響を受けていますが、貴社は2021年度について、どのような取組をされましたか。



問3. 貴社の2021年度の業績を上振れさせる要因（期待を込めて）は何だと思えますか。次の中から2つ選んでお答えください。



問4. 貴社の2021年度の業績を下振れさせる要因は何だと思えますか。次の中から2つ選んでお答えください。



問5. 【自由回答】 コロナ禍のもと、貴社が取組を行い成功した事例は何ですか。自由に記入してください。

自由回答については次のページ以降をご参照願います。

独自調査【自由回答】 問5 コロナ禍のもと、貴社が取組を行い成功した事例は何ですか。

今期の決算予想と皆様が実践された取組についてお聞かせ頂くようお願い致しました。

たいへんお忙しい中、数多くのご回答を頂き本当にありがとうございました。

お寄せ頂いた内容を拝見いたしますと、今期で既に成果を出されている先もありますが、コロナを契機に、今まで見直す機会がなかった人事制度や業務への取り組み方などの社内体制の変革や、社員の意識改革への取り組みを始められた先が多くありました。

また新たな事業への挑戦を選ばれた先がある一方、コロナを契機に事業を見直し、改めて本業に徹する覚悟を固められた先など、進まれる方向は各社様々ですが、事業の合理化や、生産体制、営業体制、設備、経費等様々な面での見直しと変革を多くの先で進められました。

取組内容が決算結果に影響するような傾向を読み取ることは出来ませんでしたが、明るく前向きに、本当に様々な取り組みにチャレンジされていることが分りました。

このレポートをお読みいただいている他のお客様の参考になり、お役に立ちそうな取組事例が多数ありましたので、一部をご紹介させていただきます。是非、皆様の事業や社内制度の見直しのきっかけにして頂き、お役立て頂けたら幸いです。ご協力誠にありがとうございました。

(尚、「新事業など容易にできない。」「特別なことはしていません。ここはぐうっと我慢と思います。」という意見もありましたことを併せてお伝えしておきます。)

業種	対応内容 (感染症対策・雇用、社内制度、社員の意識等の改革・事業の見直し・変革など)
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス対策として消毒などの感染症対策だけでなく、事務所スペースの拡大や業務スペースの分断を行っている。 ・ワクチン特別休暇付与により接種率が向上した。 ・雇用調整助成金を活用しながら従業員雇用を維持し、人材育成を行っている。 ・リモートワークや交代勤務に伴い、業務プロセスの見直し等による働き方改革を推進した。 ・インターネット販売や新商品開発により売上向上に繋がった。 ・取引先との商談に ZOOM を活用するなど、非対面ツールを拡充した。
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス対策として、通勤手段の見直しや現場から直帰させるなどの対応を行った。 ・業務のデジタル化を推進し、業務効率の改善に繋がった。 ・経費全般の見直しを行い、不要な支払いを減らした。 ・ZOOM 等の IT 会議を行うことで、手軽に連絡をとることができた。 ・新規取引先の開拓に注力し、売上増加に繋がった。
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス対策として時差出勤を導入した。 ・リモートでの会議や商談実施により出張を削減することができた。 ・コロナウイルスの感染症対策商品の開発により売上増加に繋がった。 ・百貨店への出店による売上拡大。
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策で商品ニーズが向上し、売上増加に繋がった。 ・働き方改革を前向きに取り入れ、勤務時間の削減に取り組んだ。また業務効率化を推進した。 ・不要な経費を削減し、コストダウンすることができた。 ・コロナ禍においても仕入を積極的に行い、スピードを重視した営業活動を行った。 ・商品ラインナップを見直しし、新商品の販売を行った。
不動産業	<ul style="list-style-type: none"> ・本業に集中し、コロナ禍における顧客ニーズを聞き取りした。 ・商品物件の仕入を強化した。 ・コロナ禍においてもスピーディな決断を行った。
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域顧客への感染症グッズを無償配布や備品の抗菌対策を行うなどの感染症対策に取り組んだ。 ・在宅ワークや勤務時間の削減等労働環境の見直しを行った。 ・電子申告等、事務面でのデジタル化を推進した。 ・テレワークに伴い、打合せ時間が削減できるなど、業務効率化が進んだ。

<回答内容> 【問5 コロナ禍のもと、貴社が取組を行い成功した事例は何ですか。】

業種	今期決算 予想	<感染症対策>	<雇用・社内制度・働き方> <社員の意識> 等の改革	<事業の見直し・変革>	
				効率化・事業や 経費、制度の見直し	新たな事業・商品開発等
製造業					
額縁・ 人形ケース	増収/ 増益				インターネット販売の商品が売り上げを伸ばしている。今後も商品開発を進めていく。
海苔加工品	増収/ 増益			機械設備更新による効率化、リモートワーク活用、聖域無き経費見直し、保険見直し等。営業活動のネット化。	
電子応用 機器	増収/ 減益	感染症防止対策については、密を避ける、消毒、社内啓発により今日までのところ、感染者ゼロで業務が動いている。	働き方改革に伴うプロセスの見直し。	働き方改革に伴うプロセスの見直しにより、業務の効率化につながった。	
半導体製造 装置部品	減収/ 減益	今のところ感染者ゼロ。	ワクチン接種日の特別有給付与により接種率の向上。		
建設業					
足場・ 塗装工事	増収/ 増益				新事業への取組（新しい海外事業の形態）、顧客の見直しを行った。
建設	増収/ 増益	コロナ禍対策として、各自の体調管理と報告、手洗い、消毒、マスクの着用の徹底と密を避ける行動及び密を避けるための個々の通手段の見直し。		時短勤務による作業効率アップと時短勤務に伴う通勤時間帯の変更等現在も取り組んでいます。	
総合建設	減収/ 増益	感染予防の徹底感染者はゼロです。	現場監督等の直行直帰。会社は事務職のみ。	・経営改善による業務効率化と意識の徹底。 ・業務はメールやFAXで一年間行った。	不動産購入による、販売・建築で収益UP。
卸売業					
塗料	増収/ 減益	時差出勤を導入し感染拡大防止に努めた。	時差出勤を導入。		
店舗用 陳列金物	増収/ 減益				コロナ禍の環境に合わせ感染対策品の開発、見直し。
学校教材	減収/ 増益				オンラインを活用した得意先とのミーティング・研修会。
小売業					
中古車販売	増収/ 増益				仕入をためらうことなく行った。何事においてもスピードを重視した。
乳酸菌飲料	増収/ 減益				新商品開発による付加価値アップの普及並びに顧客単価アップ対策を行った。
不動産業					
不動産業 代理・仲介	増収/ 増益				仕入れ強化、在庫を増加させた。
サービス業					
屋内外看板 設計・製作・加工	減収/ 増益			テレワークにより打合せ時間が短縮されて、業務の効率化に良い結果が出ている。	
塗装・清掃	減収/ 増益			業績の悪い事業に見切りをつけ、売上よりも利益を中心に考える。	

上記のほか、多数のご意見を頂きました、ご協力誠にありがとうございました。

貴社の今期の見通しについて

(単位：%)

調査項目		調査対象	全 体	業 種 別						従業員規模別		
				製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	1 ～ 9 人	10 ～ 49 人	50 人 以 上
		総回答数(件)	547	164	103	80	47	41	112	293	213	41
問1	貴社の今期決算についてどのような予想をしていますか。	増収/増益	21.6	18.9	21.4	27.5	12.8	29.3	22.3	19.1	22.5	34.1
		増収/減益	8.4	9.8	5.8	7.5	10.6	12.2	7.1	6.8	10.3	9.8
		減収/増益	7.1	4.9	4.9	8.8	12.8	0.0	11.6	6.5	7.0	12.2
		減収/減益	37.5	38.4	39.8	36.3	48.9	24.4	34.8	37.9	37.1	36.6
		わからない	25.4	28.0	28.2	20.0	14.9	34.1	24.1	29.7	23.0	7.3
問2	多くの企業がコロナウイルス感染拡大により大きな影響を受けていますが、貴社は2021年度について、どのような取組をされましたか。	本業に集中した	68.3	66.9	69.9	70.4	76.1	75.6	61.6	67.8	68.5	70.7
		本業に加え、新たな事業に取り組んだ。(主力は本業)	14.8	14.7	10.7	16.0	19.6	9.8	17.9	14.0	16.9	9.8
		本業よりも、新たな事業に比重を移行した。(主力は新事業)	1.6	1.8	1.0	0.0	0.0	4.9	2.7	1.7	0.9	4.9
		特に影響を受けなかったため、何もしていない。	11.5	12.9	17.5	8.6	4.3	2.4	12.5	11.3	11.3	14.6
		状況が好転せず、事業の譲渡、廃業を検討している。	1.1	0.6	1.0	1.2	0.0	0.0	2.7	2.1	0.0	0.0
その他	2.6	3.1	0.0	3.7	0.0	7.3	2.7	3.1	2.3	0.0		
問3	貴社の2021年度の業績を上振れさせる要因(期待を込めて)は何だと思いますか。次の中から2つ選んでお答えください。	ワクチン接種浸透による行動制限の緩和	55.5	56.3	49.5	59.3	57.8	50.0	58.3	57.0	53.3	56.4
		個人消費の回復	42.4	38.6	27.2	51.9	62.2	65.0	38.9	40.9	43.8	46.2
		公共事業の増加	18.9	15.8	42.7	13.6	8.9	2.5	14.8	17.1	21.9	15.4
		インバウンド需要の回復見込	8.8	9.5	8.7	12.3	4.4	7.5	7.4	8.4	8.6	12.8
		原油・素材価格の動向	13.3	19.0	6.8	14.8	17.8	12.5	8.3	14.3	11.4	15.4
		雇用の改善	8.2	5.7	12.6	2.5	4.4	2.5	15.7	4.9	11.4	15.4
		経済政策支援の充実	28.6	28.5	29.1	25.9	22.2	40.0	28.7	35.0	20.5	25.6
		その他	8.2	12.0	5.8	7.4	2.2	5.0	9.3	6.6	11.0	5.1
問4	貴社の2021年度の業績を下振れさせる要因は何だと思いますか。次の中から2つ選んでお答えください。	新型コロナウイルス感染症の拡大による行動制限の拡大	65.5	63.8	60.4	75.3	66.7	53.7	69.9	65.6	66.2	60.5
		個人消費の一段の低迷	39.5	31.9	32.7	53.2	51.1	48.8	38.8	39.0	38.6	47.4
		原油・素材価格の動向	23.0	31.9	25.7	19.5	20.0	17.1	12.6	21.6	21.7	39.5
		雇用の悪化	11.4	6.9	15.8	5.2	8.9	9.8	20.4	8.9	13.5	18.4
		経済政策支援の縮小・終了	22.0	22.5	19.8	19.5	26.7	29.3	20.4	25.9	17.4	18.4
		自然災害等の不確実要因	11.0	11.9	12.9	6.5	11.1	12.2	10.7	9.9	13.5	5.3
		インバウンド需要の低迷	8.9	11.3	8.9	11.7	2.2	9.8	5.8	9.6	8.7	5.3
		その他	3.8	3.8	5.9	3.9	0.0	2.4	3.9	3.9	4.3	0.0

※調査対象企業数 1566社 有効回答数 560社 有効回答率 35.8%
 ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。